

**製品名: CD160 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82868**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	19.8kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD160
別名	NK1; BY55; NK28
遺伝子 ID	11126.0
SwissProt ID	O95971
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD160 (AA: 25-155) の精製された組み換え断片。

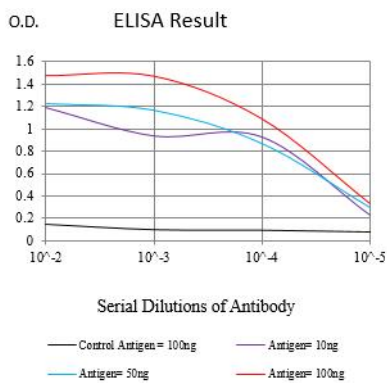
**背景**

CD160 は 27 kDa の糖タンパク質で、モノクローナル抗体 BY55 によって初めて同定されました。その発現は、末梢血 NK 細胞および細胞傷害活性を示す CD8 T リンパ球と密接に関連しています。CD160 の cDNA 配列は、システインに富み、グリコシルホスファチジ

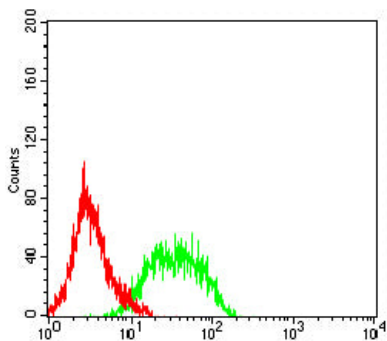
ルイノシトールアンカー型の 181 アミノ酸からなるタンパク質で、KIR2DL4 分子と弱い相同性を示す単一の Ig 様ドメインを有しています。CD160 は、細胞表面でジスルフィド結合した多量体として発現します。RNA プロット解析により、1.5 kb および 1.6 kb の CD160 mRNA が明らかになり、その発現は循環 NK 細胞および T 細胞、脾臓、小腸に極めて限定されていました。CD160 は NK 細胞内では CD56dimCD16+ 細胞に発現するのに対し、循環 T 細胞内では主に TCRgd 陽性細胞と TCRab+CD8brightCD95+CD56+CD28-CD27-細胞に限定されています。組織中では、CD160 は全ての腸管上皮内リンパ球に発現しています。CD160 は、古典的 MHC クラス I 分子と非古典的 MHC クラス I 分子の両方に結合する幅広い特異性を示します。

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD160 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。